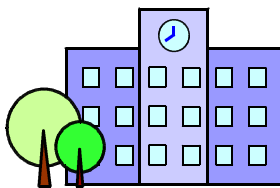


平成29年10月27日

【学校教育目標】

- ☆よく考え進んで学ぶ子
- ☆心豊かで思いやりのある子
- ☆健康でたくましい子

ま どり



「あたたかさ つよさ しなやかさ」

校長 高橋 秀明

10月の中旬に、全国の校長が集まる佐賀での研修大会に参加させて頂く機会がありました。研修大会は、全国各地で実践されている取組を持ち寄り、協議を行うことで成果を広め、課題の解決につなげていく事を目的に実施されている大会ですが、その研修大会の中で、記念講演として行われたシンポジウムでの話が、非常に参考になったので紹介したいと思います。

今回のシンポジウムは、

「未来を創る子どもたちに ～あたたかく つよく しなやかに～」

と言うテーマのもと話し合いは、進められていきました。

少子高齢化や情報伝達の多様化が進む中、将来を予測するのが困難な時代を迎える今、このような時代を生き抜いていくために、子どもたちには、郷土への誇り（あたたかさ）をもちながら、豊かな社会の創造に向けて、志を抱き困難に立ち向かう行動力（つよさ）、様々な考えや異なる価値観を受け入れる対応力（しなやかさ）を身に付ける事が必要とのことで、シンポジウムでは、佐賀県にゆかりのある3人のシンポジストから「あたたかさ」、「つよさ」、「しなやかさ」を身に付けさせる視点で、自分の体験談を通し、自身の人格形成がどのように築き上げられてきたのか。そして、それを踏まえ、これからの学校教育で、子どもたちをどう導いて欲しいのか、校長へのメッセージとして語られていました。

あたたかさに関する体験談では、画家の中島潔氏の話が特に印象に残りました。絵を描くことで人に誉められ、絵を描くことで幸せに感じられるようになり、自分の仕事にできるようになったこと。好きな絵を描いている時に、あたたかさをつよく感じるようになり、自分の未来の明るさにつながっていったこと。自分の生活を豊かにする人との出会いにもつながっていったという内容でした。自分の自信が持てるもの、好きなことを見つける大切さについて話して頂きました。

つよさでは、アナウンサーの内山俊哉氏の話が印象的でした。野球が好きで、野球の実況がしたくてNHKに入局したけれど、人気スポーツのため自分に出番が回ってこなかったこと。それでも腐らずに、当時、開幕時期にあったJリーグを担当し、今までに無かった視点での企画により、放送界でJリーグの裾野を広げた一人として脚光を浴びる存在になったこと。つよい気持ちがあれば、どんな逆境にいても、自分の力を発揮することが必ず出来る事を話して頂きました。「チャンスは、回ってくるものではなく、自分でつかむもの」という言葉も心につよく残りました。

しなやかさでは、有田焼陶芸家15代柿右衛門氏から、400年も続く伝統文化を継承し、発展させていく難しさについて、自分の我を通すだけでは、新しい文化は生まれることはなく、一緒に積み上げてきた職人たちから、意見を聞き入れる柔軟性（しなやかさ）が、重要であることを聞かせて頂きました。多くの意見を聞き入れる事は、時間がかかるように思えるが、知恵を結集することで、多面的な課題への対応力が高まり最終的には、安定した力につながっていくことを教えて頂きました。

研修大会で学んできた「あたたかさ、つよさ、しなやかさ」に関する資質を伸ばすための視点は、東野幌小学校の子たちにも育てていきたい力だと感じて帰ってきました。後期の教育支援の中に活かしながら、進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

最後に、学習発表会が11月3日（金）に開催されます。発表会の成功に向け、子どもたちは一ヶ月以上もの間、学年一丸となって練習に取り組んで来ました。当日は、ご多忙の中かと思われるかもしれませんがたくさんの方にご来校頂き、励ましの言葉を送って頂ければと思っていますので、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い致します。

ブログにて学校での日常的な情報を、連日発信していますので、是非ご覧下さい。

ブログのアドレス → <http://blog.webone.ne.jp/higasinos>